

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：児童福祉諸費

事業名 保育分野への進学・就職総合フェア開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部 子育て支援課 子育て人材支援センター 電話番号：058-214-8902

E-mail：kosodateshien@govt.pref.gifu.jp

1 事業費 3,955 千円 (前年度予算額： 3,955 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,955	1,977	0	0	0	0	0	0	1,978
要求額	3,955	1,977	0	0	0	0	0	0	1,978
決定額	3,955	1,977	0	0	0	0	0	0	1,978

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

保育需要の増加や低年齢児化により、保育所等では多くの保育士が必要となるが、年々、新人保育士の供給が減少しており、人材確保は一層困難となっている。その背景には、保育士への憧れや仕事としての魅力が他業種に比べて相対的に低下し、保育士を養成する「保育士養成施設(大学・短大)」への進学者が減少傾向であることに加え、同施設から保育所等へ就職する新人保育士の割合の低下もある。

これを補う人材として「潜在保育士」が注目されているが、潜在保育士を掘り起し、保育所等への就職に至らせるには、多くの時間と労力が必要であることに加え、潜在保育士の就職・再就職を目的とした保育所等とのマッチングイベントなども県内に見当たらないことから、潜在保育士の求職行動に繋がりにくい。

保育人材を必要とする各機関が相互に連携し、保育所等や保育士養成施設、支援機関などが一堂に会した保育の魅力等を発信する訴求力あるイベントを開催し、総力で保育人材の獲得を目指していく必要がある。

(2) 事業内容

将来保育人材になり得る進路選択を控えた中高生や保護者、潜在保育士や保育の仕事に興味を持つ方などを広く対象とした、「保育士になるための進学・就職総合フェア」を開催する。

開催時期：令和8年5月23日（土）（予定）

開催会場：岐阜市文化センター（催し広場）

参加施設：100施設程度を想定

(保育所等90施設、保育士養成施設及びその他10施設)

対象者：県内の中高生及びその保護者、大学及び短大生、潜在保育士 等

<こども家庭庁：保育対策総合支援事業費補助金(保育士・保育の現場の魅力発信事業)活用事業>

(3) 県負担・補助率の考え方

保育所等と保育の仕事に関心を持つ学生や潜在保育士その他の求職者が会う場を提供することにより、県内の保育全体の課題となっている保育士不足の解消に繋がると考えられ、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	3,955	進学就職総合フェア開催事業
合計	3,955	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・岐阜県こども計画

第5章 政策の4つの柱に基づく施策の方向

Ⅲ 子育て中の方への支援

(3) 安心してこどもを預けられる受け皿づくり

(2) 後年度の財政負担

岐阜県子育て人材支援センターによる潜在保育士の掘り起しや保育所への就職あっせん等の一環として取り組むもの。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内の保育士養成施設への進学や、県内の保育所等への就職を促進するため、県内の中高生及びその保護者、大学及び短大生、潜在保育士に対する情報発信の場を提供する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H26)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
潜在保育士、幼稚園教諭等再就職マッチング数	172	1,185	1,330	1,475	1,910	85.5%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	（一社）岐阜県民間保育園・認定こども園連盟と共同し、岐阜市文化センターにおいてイベントを開催した ●保育士になるための進学・就職総合フェア（R4.7.2開催） 〈参加施設〉 89施設 〈来場者〉 就活生 223人 大学・短大生 19人 中高生 36人 一般（潜在含む） 23人 合計 301人
令和5年度	（一社）岐阜県民間保育園・認定こども園連盟と共同し、岐阜市文化センターにおいてイベントを開催した ●保育士になるための進学・就職総合フェア（R5.7.1開催） 〈参加施設〉 103施設 〈来場者〉 就活生 194人 大学・短大生 18人 中高生 14人 一般（潜在含む） 32人 合計 258人

令和6年度	(一社)岐阜県民間保育園・認定こども園連盟と共同し、じゅうろくプラザにおいてイベントを開催した	
	●保育士になるための進学・就職総合フェア (R6. 6. 29開催)	
	〈参加施設〉 87施設	
	〈来場者〉	
	就活生	163人
	大学・短大生	26人
	中高生	10人
一般(潜在含む)	31人	
合計	230人	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	進学から就職までの保育に関する一連の関係者が一堂に会するため、中高生及びその保護者、大学及び短大生、潜在保育士に対して効果的に情報を発信することができるため、本事業の必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	保育士資格を取得するためには、一定期間保育所等での実習を行う必要があり、大部分の学生が実習先を就職先として選択しているため、県内の保育士の確保のためには、県内の保育士養成施設への進学者を増加させることが効果的であると考えられるため、有効性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	(一社)岐阜県民間保育園・認定こども園連盟が毎年開催している「みんなJobフェア」と連携して実施するため、効率的・効果的に実施が可能である。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県内の保育士養成施設における卒業生数の減少に伴い、本事業への参加者も減少傾向。保育士を志す学生の増加を図るために、保育の魅力を広く発信するとともに、センターによる継続的な支援を行うことが肝要。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 保育士養成施設等へ進学する県内の公立高校生のうち、約1/3の学生が県外の施設へ進学していることから、県内保育所等への就職につなぐために、県外の学生に対する周知も積極的に行っていく。
